

2023年5月1日

対話 AI「ChatGPT」は人間知性にとって脅威か福音か？

専修大学 商学部教授
渡邊 隆彦

ChatGPT は、マイクロソフトが出資する米国新興企業の OpenAI が開発した GPT-3.5 アーキテクチャをベースとする対話 AI (人工知能) である。現時点では、以下のような利点と欠点を持つと言われている。

【利点】

- ・ 豊富な知識量： ChatGPT は、トレーニングデータとして大量の文章を用いて学習されているため、豊富な知識を持っており、多岐にわたる質問に答えることができる。
- ・ 多様な表現力： ChatGPT は、トレーニングデータに基づいて文章を生成することができるため、多様な表現力を持っており、自然な文章を生成することができる。
- ・ 学習の進展： ChatGPT は、オンラインで学習を続けており、新しいデータが追加されることにより、知識量が増えていくことが期待される。つまり、時代とともに進化していく可能性がある。
- ・ パーソナライズされた対話： ChatGPT は、ユーザーの入力内容に基づいて、よりパーソナライズされた回答を生成することができるため、より自然な対話を行うことができる。

【欠点】

- ・ 偏った知識： ChatGPT は、トレーニングデータに基づいて学習するため、そのトレーニングデータに偏りがある場合、偏った知識を持っている可能性がある。そのため、正確な情報を得るためには、他の情報源も参照する必要がある。
- ・ 品質の安定性： ChatGPT の回答品質は、入力内容に大きく依存するため、入力内容が適切でない場合、回答の品質が低下することがある。また、トレーニングデータに含まれるミスや誤解も引き継がれるため、回答の品質に不安定さがあると言える。
- ・ プライバシー問題： ChatGPT は、ユーザーの入力内容を分析することができるため、プライバシーの問題が生じる可能性がある。OpenAI は、この問題に対応するために、ユーザーの個人情報を保護するための方針を明確にしているが、完全に解決することは困難であると考えられる。
- ・ 人間との違い： ChatGPT は、人工知能による対話システムであるため、人間との違

いがある。例えば、感情や思考の表現に関しては、人間と異なる回答を返すことがある。また、コミュニケーションにおいて、人間のような論理的な判断力や洞察力を持っているわけではない。

・依存性の問題： ChatGPT による対話は、楽しい体験になることがある。しかし、それに依存してしまうことがあるため、問題となることがある。特に、対話が人間との対話であることを認識できない場合、虚偽の情報や誤った情報に基づく判断をする可能性があるため、注意が必要である。

ここで種明かしをすると、ここまでの「ChatGPT の利点と欠点」の文章は、すべて ChatGPT が生成したものである。体当たり実証主義者である私は、数日間にわたり ChatGPT で遊んでみた（あるいは ChatGPT に遊ばれた）。その結果のいくつかを以下簡単に紹介する。

- (1) 「日本の岸田首相の政策を評価してください」との質問に対しては、「私は人工知能であり、政治的立場を持ちません。私は中立的な立場を維持し、情報を提供することに専念しています」と述べた後、いくつかの事実を羅列。政治的中立性を強く意識している模様。
- (2) 「3ヶ月前のドル円相場を予測し、その予測理由も教えてください」との質問には、「私は為替相場の専門家ではありません」と渋ったが、数時間後に同じ質問をする。「予測困難ではありますが」と言いながら「110～112円」という大胆な予測を披露。しかしその予測理由として挙げたものが全て「ドル高円安要因」であり、意味不明なポンコツ回答。
- (3) 「ヌートバーと貴景勝が漫才をするときの台本を作ってください」とお願いすると、2人が野球選手と力士であることは認識するも、まったく面白くない台本を作成。「ブラックジョークを交えてよ」と追加注文したところ、「私は多くの人たちを不愉快にはさせたくありません」とのお叱りを受けた。

しかし私がいちばん驚いたのは、「ChatGPT の利点と欠点をまとめよ」といった「学生に課すレポート課題的なテーマ」に対する ChatGPT の回答の出来の良さである。たとえば、「コーポレートガバナンスにおける社外取締役の役割とその限界を述べよ」という質問に対する回答は、どこにでも書いてあるような面白味のない内容ではあるものの、そつなく無難にまとめられたシロモノであり、学生がこれを提出してきたら合格点を与えてしまいそうなものであった。これは大学教員にとって脅威である。

「ChatGPT が生成した文章を ChatGPT 自体に読み込ませて『この文章が ChatGPT で生成されたものか否か判定せよ』と問うと、『おそらく ChatGPT で生成されたものです』と返してくる」という記事を読んだことがあったので、これは学生への対抗手段として使えそうだということで上記「ChatGPT の利点と欠点」の文章を ChatGPT に判定させたところ、なんと「この文章は ChatGPT によって生成されたものではありません。ただし ChatGPT に関する正確な情報を含んでいます」との「誤判定&眉唾コメント」を返される始末。今後はレポート課題ではなく「持込み不可の試験」中心に学生の評価をした

方が良さそうだな、と嘆息する結果と相成った。

とは言うものの、数日にわたって ChatGPT と遊んだ（遊ばれた）個人的な感想としては、現時点の ChatGPT は、鉄腕アトムのように人間と同等の知性を感じさせる存在、人間知性を脅かす存在ではなく、こちら（人間）がコントロールできる鉄人 28 号のような存在、それなりに頼れるけれどちょっぴり（かなり？）不完全な存在であった。私は、今の ChatGPT であれば「愉快的相棒」としてお付き合いできそうに感じている。

もっとも、ChatGPT の有料版はもっと性能が高く、さらに英語版（英語での質問・依頼に対する回答、の意）は学習データの量が格段に多いため日本語版よりも回答の精度が高いようである。鉄人 28 号も「あるときは正義の味方、あるときは悪魔の手先。いいも悪いもリモコン次第」と主題歌でうたわれている（作詞：三木鶏郎）。ChatGPT がいいも悪いも人間次第。今後も ChatGPT をはじめとする対話 AI と付き合いながら、対話 AI と人間知性の関係がどう展開していくのか、見定めていきたい。

以上

（2023 年 3 月 21 日執筆）

（ご意見・コメント等は takahiko@isc.senshu-u.ac.jp までお寄せください。）

（IIMA メールマガジンへの寄稿）

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2023 Institute for International Monetary Affairs（公益財団法人 国際通貨研究所）

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

Telephone: 81-3-3510-0882

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

電話：03-3510-0882

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>